

SAOTOME Yukio  
五月女 幸雄

特別企画



「ザ・コンステレーションー都市讃歌ー」 F150号 1978年、東京都現代美術館蔵<sup>3</sup>



「人間商品」 みづゑ No.832 (1974) より転載<sup>1</sup>



「 Horizont・ライト」 F100号 1973年 栃木県立美術館蔵<sup>2</sup>

- 1937 宇都宮生まれ。県立石橋高校卒業後、蕨画塾で、デッサン、彫刻、絵画の基本を学ぶ。  
埼玉大学(教育学部)入学。在学中より、絵具、砂、石膏、金箔、蠟などを素材にした創作で現代美術展に参加。
- 1960 20代作家集団展(池袋三越)
- 1961~読売アンデパンダン展(東京都美術館)  
新制作協会展(東京都美術館)
- 1962 汎太平洋美術家展・国際青年美術家展(銀座松坂屋) etc.  
同時期に「埼玉前衛青年芸術作家集団」を結成。県立美術館の前身であった浦和別所沼畔の展示場をグループの足場とし、60年代社会背景のもと、前衛美術運動を拓げる。  
また現代舞踊家たちとの交流を通じて舞台美術に携わり、舞台空間で得た新たな発想による作品制作を展開。「毎日現代美術展・立体部門」(1969/東京都美術館)では、ガラスケースに入れた人間そのものを展示して物議を醸し、メディアを巻き込み大きな話題を呼んだ。「人間商品」<sup>1</sup>と題されたこのシリーズは、やがて「The Body」として、都内数ヶ所(1970/六本木自由劇場、1971/渋谷スペースラボラトリー)で公開。1972年のニューヨークに於ける同展は、絵画の原点を見つめ直し平面作品へ戻る契機となった。
- 1973 国際青年美術家展(池袋西武百貨店)では、水平線を描いた「ホリゾン・ライト」<sup>2</sup> 100号油彩を発表。
- 1974 第一回北関東現代美術展(栃木県立美術展/準大賞受賞)  
日本国際美術展~複製・映像時代のリアリズム(東京都美術館)  
東京国際具象絵画ビエンナーレ(渋谷東急百貨店)
- 1975 沖縄国際海洋博記念-海を描く現代美術展/優秀賞受賞(沖縄国際海洋博博物館1975/東京新宿伊勢丹)  
今日の作家-今日の静物展(横浜市民ギャラリー)  
個展/パリ(ギャラリーMorantin-Nouvion)
- 1976 安井賞候補作家展(西武美術館)
- 1978 インドトリエンナーレ(ニューテリー)<sup>3</sup>
- 1978 「埼玉美術の祭典」を立ち上げ、地域の美術運動を全国規模へと拡大。
- 1987 パリに移住。  
サロン・ドートンヌ(パリ・グランパレ)入選、第24回コートダジュール国際絵画大賞展/大賞受賞(カンヌ)、第28回オルレアン美術展大衆賞受賞(オルレアン)、第5回アート・ジョンクション(ニース)、国際アートコンペティション(ニューヨーク)、第23回国際現代絵画展(モンテカルロ)、第1回バイシュベル国際現代芸術センター招待作家に選抜。(招待作家展/1989年ボルドー/パリ、東京サントリー美術館)  
個展/パリ(ギャラリー・カプラン・マチニオン)、(エペルネ市主催/Médiathèque d'Epernay)  
サロン・ドートンヌ委員、サロン・コンパレゾン運営委員。
- 2006 サロン・コンパレゾンに日本セクションを創設し、CAFネビュラメンバー作品の紹介に努める。(パリ・グランパレ)
- 2011 アトリエをパリよりエペルネEpernayに移設。現在に至る。

作品収蔵美術館 東京都現代美術館、埼玉県立近代美術館、サントリー美術館、栃木県立美術館、宇都宮市立美術館  
回顧展(美術館企画) 「幻想の贈りもの-五月女幸雄」展(池田20世紀美術館/2001)  
「幻想と迷宮」展(埼玉県立美術館/2003-2004)

2023.2 テイラー財団-Maxime Juan賞を受賞(Art Capital/パリ・グランパレ・エフェメール)